

■資源ごみ処理施設概要の比較

相原・上小山田資源ごみ処理施設と、現在稼働している類似処理プラント施設の比較を以下のとおり、まとめました。

表 資源ごみ処理施設概要の比較

		相原・上小山田 資源ごみ処理施設	寒川広域リサイクルセンター
敷地面積		約 20,000 m ² (計画中)	約 12,063 m ²
建築面積		約 2,000 m ² -3,000 m ² (計画中)	約 2,991 m ²
延床面積		約 4,800 m ² (計画中)	約 4,199 m ²
資源ごみ処理施設 処理対象物	容器包装プラスチック 圧縮梱包施設	10.7 トン/日	17.5 トン/日
	カン選別処理施設	3.2 トン/日	6.8 トン/日
	ビン選別処理施設	9.4 トン/日	12.5 トン/日
	ペットボトル選別処理施設	2.9 トン/日	6.0 トン/日
	トレイ・紙パック	貯留場所	—————
	有害ごみ (乾電池・蛍光灯等)	貯留場所	—————
	製品プラスチック	貯留場所	—————
	使用済小型電子機器等	貯留場所	—————
	金属類	—————	貯留場所
	廃食用油	—————	貯留場所
	衣類・布類	—————	貯留場所
	古紙類	—————	貯留場所

出典：神奈川県寒川町HP「寒川広域リサイクルセンターの概要」